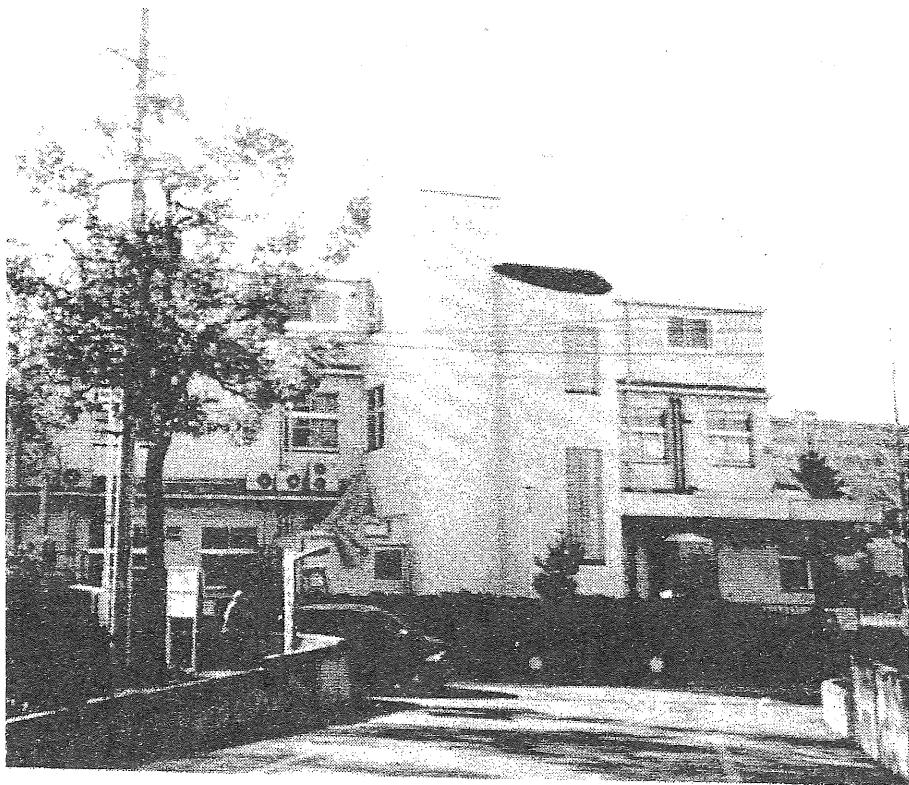


向島の催し、ニュースは、愛隣館研修センターへお知らせ下さい。

愛隣館研修センター
ニュース

社会福祉法人イエス団
愛隣館研修センター
〒612 岐阜県岐阜市二の丸151
TEL 0575-621-3849
FAX 0575-621-1579
発行 平田 義
集編 恵 大一郎

3階増築工事終る!!



色々とい迷惑をおかけいたしました。
これからもう少しあとよしくお願いします。

一九七九年に二階の建築を始めから、一九九三年の工事で始められた「ふうせん文庫」の活動から始まり、週三回の「教会学校」、様々な教室活動、また「障害児者に関わる活動など、皆さまの暖かい見守りの中で、愛隣館研修センターは育まれてまいりました。

その後、九三年に念願のエレベーターが設置され、身体「障害」者のデイサービス事業が始まました。介護者が不足していたために、日々食事が満足にできなかつたりトイレができるなかつたりした地域の「障害」の方々がおられました。そのような方々がおられる地域で安心して豊かに暮らしていける一つの支えになればと願つて、給食サービス、介護サービスなどを含むデイサービスの事業を開きました。

約五ヵ月にわたる工事もほぼ終え、ついに三階が増築されました。皆さまには工事期間中、大変ご迷惑をおかけいたしまして、申し訳ありませんでした。この場をお借りいたしまして謹んでお詫び申しあげます。

一九七九年に二階の建築を始めから、一九九三年の工事で始められた「ふうせん文庫」の活動から始まり、週三回の「教会学校」、様々な教室活動、また「障害児者に関わる活動など、皆さまの暖かい見守りの中で、愛隣館研修センターは育まれてまいりました。

その後、九三年に念願のエレベーターが設置され、身体「障害」者のデイサービス事業が始まました。介護者が不足していたために、日々食事が満足にできなかつたりトイレができるなかつたりした地域の「障害」の方々がおられました。そのような方々がおられる地域で安心して豊かに暮らしていける一つの支えになればと願つて、給食サービス、介護サービスなどを含むデイサービスの事業を開きました。

そして、この度、三階部分を増築して、入浴設備を設置し、「障害」の方々に入浴サービスを提供することになりました。家の風呂が狭く入れなかつたり、介護者が確保できず、月に数回しか入浴できないでいた「障害」者の方々の願望がようやく実現され、非常に喜ばしい限りであります。

今後とも、地域の「障害

児、者や高齢者の方々が、よ

り安心して、豊かに暮らせる一

助として、センターの働きが

続けて、いけれど願つております。

これからも、より一層のご

支援とご協力をよろしくお願

いいたします。

サービスを提供することになりました。家の風呂が狭く入れなかつたり、介護者が確保できず、月に数回しか入浴できないでいた「障害」者の方々の願望がようやく実現され、非常に喜ばしい限りであります。

今後とも、地域の「障害

児、者や高齢者の方々が、よ

り安心して、豊かに暮らせる一

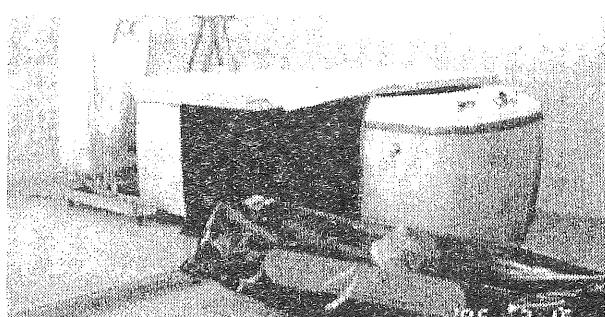
助として、センターの働きが

続けて、いけれど願つております。

これからも、より一層のご

支援とご協力をよろしくお願

いいたします。



僕が調べた!! 向島の歴史 ~連載を終えて~

今！著者が語る！！その胸のうち



八年秋にスタートし、七年・一六回という長きにわたつて連載してまいりました。“車イス吟遊詩人”柏木正行氏の長編スベクトカル「ぼくが調べた・向島の歴史」も前回で怒濤の最終回を迎えました。そこで、今回はこの長期連載を振り返るべく柏木さんにお話を伺いました。

柏木さん、こんにちわ。さて、早くですが“向島の歴史”を調べてみようと思つたきっかけといふか、動機についてうかがいたいと思います。又、それはいつ頃のことですか？

えへ、僕がここに住むようになったて、五・六年目くらいかな。自分の住んでいるこの向島が“歴史都市”京都の中でどんな歴史を経て現在に至っているのか興味が湧いてきたんですね。では、実際にその歴史を調べてみて、そのうつ。調査中といふか執筆中にどのような事をお感じにならましたか。

これは連載中の本文の中で、も触れてるんですが、私は“地域史”という点的にしばりたかった。ここは一九二〇、三〇年代に千拓によつて出来た土池なので、ここに住む人々の歴史というのは浅いものなのだなあということ。もう一点は、例えば現在ウトロと呼ばれている近辺に飛行場の建設が始まつて、多くの朝鮮人が徴用されていた”事実”が有るはずなのにそいつたことはほとんど歴史書からは”抹殺”されていました。構造的に巧妙に「差別」の実態が隠される体質をこの社会はもつてゐるのだなあと強く感じました。これは、一般的歴史書を読んでいていつも感じることです。

なる程。柏木さんならではの“視点”ですね。さて、最後に、連載を終えて今現在感じることを述べて頂いて結びとしたいと思います。

これを書いた直後（八七年）はまだ、一街區も京滋バイパスもなかつたし、今よりもガランとしてのんびりした感じでした。大規模なスギスギしているようなところ頃から見ると様変わりし、歳月の流れを感じます。

また、どうも人々の心がギヤード両面がよりよい方向で充実していくればな

られましたか。

これは連載中の本文の中で、も触れてるんですが、私は“地域史”という点的にしばりたかった。ここは一九二〇、三〇年代に千拓によつて出来た土池なので、ここに住む人々の歴史というのは浅いものなのだなあということ。もう一点は、例えば現在ウトロと呼ばれている近辺に飛行場の建設が始まつて、多く

の朝鮮人が徴用されていた”事実”が有るはずなのにそいつたことはほとんど歴史書からは”抹殺”されていま

した。構造的に巧妙に「差別」の実態が隠される体質をこの社会はもつてゐるのだなあと強く感じました。これは、一般的歴史書を読んでいていつも感じることです。

なる程。柏木さんならではの“視点”ですね。さて、最後に、連載を終えて今現在感じることを述べて頂いて結びとしたいと思います。

これを書いた直後（八七年）はまだ、一街區も京滋バイパスもなかつたし、今よりもガランとしてのんびりした感じでした。大規模なスギスギしているようなところ頃から見ると様変わりし、歳月の流れを感じます。

また、どうも人々の心がギヤード両面がよりよい方向で充実していくればな

が感じられるのです。豊かな人間関係をベースに、もつと我々「障害」者が本当の意味で暮らしやすくなつていけるよう、ソフト（主に人の心）

映画「奈緒ちゃん」を観て……

映画「奈緒ちゃん」は、てんかんと知的障害を持つ奈緒ちゃんが八歳から二十歳の十二年間に渡つて追つたドキュメンタリーです。観ると奈緒ちゃんの笑顔と人々が伝わり、ずっと以前から知り合いでいたような感覚に陥ります。小学生の奈緒ちゃんを、おいかけて登校する名シーン、危険が伴うことは親が教えなければとの思いで日々努力されるお母さんの姿勢に頭が下りました。叱られているシーンでは、叱つているお母さんの辛さが伝わり涙が出てしました。更に印

素直な私がそこにいました。みを映画を見た人に分け与えてくれます。観終わつた時、映画のあとで「観て頂くのは恥ずかしいですが、映画は見る人の為にあるもので、奈緒を作業所を作るより大変でした。これ育てるより大変でした。これからのお母さんに、私と同じ苦労をさせたくない」と話してくださいました西村信子さん。あの美しさは母としてだけでなく、作業所のリーダーとして責任ある仕事を持つ充実感から生まれたものでしょか?これからも頑張つてと応援したい。この映画を私の住んでいたい向島で観ることが出来て幸せに思いました。

去る一月一四日(日)午後より、てんかんと知的障害をもつ少女とその家族の生活を綴ったドキュメンタリー映画「奈緒ちゃん」の上映会が、野の百合幼稚園ホールにて開催されました。あいにくの天気にもかかわらず、たくさんの方々に集つて頂き、映画のあとで奈緒ちゃんのお母さんの演奏会に至るまで熱心に聞き入る方々に感銘を受けました。有難うございました。

当日、映画をご覧になられた、自身を「障害」を接つ子どもさんがおられる方から映画を観ての感想を寄せて頂きました。

又これからも、このようないきたいと考えております。

象的だったのは、奈緒ちゃんが地域の中で近隣の人と関わることです。これはお母さんが奈緒ちゃんと同様の障壁を持つ子どもの親とグループを作つて一緒に語り活動することと関連していると思います。子どもが成長するうちに共同作業所の構想が具体化して実現に至つたと考えると嬉しいです。子どもと共に成長できる親つてすばらしいと思いました。教えて映像には描かなかつたそうですが、てんかんには発作が伴います。発作の度に奈緒ちゃんも家族も苦しんだと思うと心が痛みますが、スクスクと明るい娘さんによつた成人式の奈緒ちゃんの着物姿が素敵でした。『愛される障害者』で『地域の中で育てたいい』との家族の思いは見事に実現され、奈緒ちゃんと共に

「今年も恒例になりました
『おせち』の配食が、向島
地域でお一人で暮らしてお
られる高齢者・「障害」の方々
に対し行なわれました。
た。調理して下さったのは、
野の百合幼稚園で長年活動
しておられる『体操サークル』
の方々及び当アイサー
ビスの調理担当スタッフ。
お一人暮してなかなか「
おせち」まで用意できない
という方に大好評でした。
尚、愛隣音楽センターで
秋に行なわれたチャリティ
コンサートの収益の一部
をこの為に使わせて頂きま
した。有難うございます。

去る三月七日休憩館にて、高齢者の方々と園児たちとの楽しい交流をもつつき大会が開催されました。当日はお天気にも恵まれ各老人クラブ等から参加された方が、園児たちと一緒におもちつきに汗を流し、ついたおもちを丁寧にこねてくださいました。その後、園児らの歌や劇を見ながら一緒におもちを食べ楽しいひとときを過ごしました。次年度もより多くの方々に参加して頂いて、地域の中での楽しい交流の時が持てれば幸いです。

皆様、どうもありがとうございました。

お正月に、おせちの配食行なわれて

高齢者の方々と共に
「お餅つき」大会

八日(木)、二九日(金)、三十日(土)
職員の研修プログラムを予定

◇テイサービス・お花見◇
日程、行き先その他詳しいこ
とは未定。

力
レ
ン
タ
ー

次号には、入浴の様子をお伝えできるかと思います。
それでは次号まで……

センターの活動を支えて頂き
どうもありがとうございました

1995年度・賛助会会員の皆様

田中春枝・君村千代子・谷口あさ子・信濃すゑを・金子町子・作野歎子・前川直美・石山愛子・引原勝美・恵ヒロ子・恵丈一郎・木村耕・上田圭子・林栄子・高橋幸子・安野優美・内藤仙太郎・弘子・松井知恵・松井望・中井宏幸・島崎歳子・島崎富子・武本優美・岩尾真理景・酒井登茂代・森弘・木村春枝・栗林千代栄・藤田恭子・倉田妙子・玉井勝也・高下恭子・松野正信・清美・三谷昭子・斎恵子・江藤淑子・松村有希子・松村新子・家西知加子・坂田幸作・広瀬悦子・下岡一夫・愛子・伊藤明・福田富代子・荒木拓美・齊藤友和・渡辺文子・木村淳

す。主の御名を賛美いたしま
一九九五年度の愛隣館研
修センターの贊助会会員を
ご紹介させて頂きます。献
金額は二五八口。七、六一
四、九七九円でした。どう
も有難うございました。
会員の皆様のお名前を記
させて頂き、感謝の印と代
えさせて頂きます。
尚、三月十日現在での記
録ですでので、その前後にご
献金頂いた方は、お名前を
載せることが出来なかつた
方もおられると思ひます。
その場合は、恥しからずご
容赦ください。
次年度もまた、よろしく
お願ひいたします。

恵美（二口）・藤田恭子（二口）・廣瀬悦子（二口）・村山盛嗣（三口）・宮本真希子（四口）・恵ヒロ子（二口）・前川直美（二口）・吉田雅美（二口）・安野優美（二口）・若林裕（さゆり）（二口）・中井宏幸（二口）・森弘（おとこ）・雄子（二口）・榎本久美江（くみえ）・社会福祉法人東京家庭学校・今井洋・榎本和子・榎本てる子・大津健一・大賀幸一・飯謙（めんけん）・今井恵・後宮俊夫・松代有・本由美子・大沢宣・榎本空・後宮忠正・川上潔・近藤孝子・川上清樹・鞍好子・神谷幸子・柏木正行・小西望・佐伯昌祥・志賀勉・杉野正彦・清水麻里・塚本眞一・高谷泰市・滝口日出子・滝口宣・竹中正夫・玉

（指定献金（増改築、クリス
マス、年会費））
今井文子（二口）・岡崎岳
(二口)・今福義明（二口）
江藤淑子（二口）・伊藤美恵
子（二口）・近藤和江（三口）
・川守田陽（四口）・黒多健
伸枝（二口）・木本雅子（二
口）・加治木政子（二口）
小柳伸顯、玲子（二口）・近
藤政一（二口）・木村量好（
二口）・ショペネマン・クラ
ウス（二口）・杉原輝明（二
口）・島崎富子（二口）・谷
口あさ子（二口）・田村早千
枝（二口）・西田和可子（三

教会（二口）・教団京都葵教会
会（二口）・教団松戸教会（
二口）・教団大森めぐみ教会
(二口)・愛之園保育園・大
阪東十三教会・近江兄弟社学
園・教団大住世光教会・柏木
正行と伏見を良くする会・京
都Y.M.C.A・神戸保健専門學
院・教団鹿島教会・学校
関西セミナーハウス・甘樂保
育園・教団京都復興教会・教
団各務原教会・坂出育英館
教団田園江田教会・同志社女
子高等学校宗教部・田園江田
幼稚園・教団高の原教会・新
島学園高等学校・教団新潟教
会・ベテヌダの家・伏見民商
ニユータウン支部・一麦保育
園・光の子保育園・馬見勞作
農園・教団水口教会・

み・成田信義・由起・中田博・西村大治郎・中島淳・平田哲・真貴子・深田未來生
府上征三・畠睦生・藤原かおり・橋原正彦・兵藤みや子・森孝一・南陽子・向井金蔵・
三好博・恵繁治・真知子・松田央・村山よし子・松井(向島三街区)・村山兄妹・真砂良克・
山本透・清美・横田督子・山崎雅實・久枝・杉の子保育園園長・祐樹明・渡辺文子・
子・悠・亀田正己(みどり野保育園園長)・杉野正彦・林航・教団大津教会(二口)・
教団市川三本松教会(二口)・賀川記念館(二口)・教団鎌倉恩寵教会(二口)・教団基督教
ヶ谷教会(二口)・教団田辺

鹿渓会・田中工務店・手話サ
ークル「野の花」・野の百合
幼稚園・教団京都教会・教団
錦林教会・教団京都丸太町教
教団土佐教会・教団西宮
一麦教会・教団平安教会・ビ
ターバン・教団八頭教会
(二〇〇四)